

第2回東アジア地方政府会合実務者プログラム

## 日本アспен・エグゼクティブ・セミナー(AE)概要

(実務者プログラムは「事例研究セミナー(CS)」 「日本アспен・エグゼクティブ・セミナー(AE)」の事前選択制です)

## 【概要】

古典を手掛かりに、人間的価値の本質を探る

日本アспен・エグゼクティブ・セミナー



“自分が何に拠って立つべきか、何をベースに物事を判断すればいいのか。”

ビジネスも国際化・複雑化する今、もっと大きな視点に立った判断を求められる場面が多くなります。そうした判断力を養う上でアспенセミナーは有効です。自分が行動していく際に価値判断するためのいい物差しを身につけることができました。(参加者からの声)

「日本アспен・エグゼクティブ・セミナー」は、各界のリーダーが、異質で多様な人的構成と都塵から離れた自然環境の中で、日本が直面している現在および将来にわたる課題の本質について、優れた古典やコンテンポラリーな文献をよりどころに、自由な対話方式によって語り合い、人間的価値の本質について思索し、自らの現在の位置を見極めながら将来を展望する「リーダーシップ・プログラム」です。

■時期： 2011年10月19日(水)～24日(月) (一般社団法人 日本アспен研究所主催)

■会場： 奈良ロイヤルホテル、奈良県新公会堂

■対象者： 地方政府課長クラスのほか、企業の役員・幹部社員、NPO・NGO関係者、学者・研究者など、現在またはこれから指導者としての責任を負う方々

## ■主な狙い:

- ・リーダーとして判断し行動するための深い『洞察力』と『価値軸』を涵養する
- ・多様な世界へと『視野』を拡げ、『理想』を構築し、人間力を高める
- ・『内省』する力を養い、『対話』の重要性と方法について体験的に学ぶ

■構成： モデレーター、リソース・パーソンを含め 20～24名

## 【モデレーターとリソース・パーソン】

セミナーの中で、“対話”を活性化させ、適切な方向へと導く重要な役割を担うのが、『モデレーター』です。また、深い学識と豊富な知見を持ち、対話の質を高め、より実り多きものとなるよう助言して下さるのが、『リソース・パーソン』です。当セミナーでは、各界の優れた方々に『モデレーター』および『リソース・パーソン』を務めていただいております。

## 〔これまでの実績〕

本間 長世(東京大学名誉教授)

松山 幸雄(共立女子大学名誉教授)

村上 陽一郎(東洋英和女学院大学学長)

橋本 典子(青山学院短期大学 教授)

堂目 卓生(大阪大学 教授)

今道 友信(東京大学名誉教授)

中村 桂子(JT生命誌研究館館長)

猪木 武徳(国際日本文化研究センター 所長)

篠原 興(国際通貨研究所名誉研究員)

4. クロージングセッション・シンポジウム

日	時間	講義名	会場	講師名
10/24(月)	9:30-10:30	クロージングセッション	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	辻 琢也氏 一橋大学大学院法学研究科教授
	12:00-14:00	第2回東アジア地方政府 会合・日本アスペン シン ポジウム	奈良ロイヤルホテル 2F 「鳳凰の間」	下記記載

〔クロージングセッション〕

講師の講評を紹介しながら、セミナーを振り返るとともに、参加者の意見交換を行い、モデレーターの辻教授から講評をいただきます。

〔第2回東アジア地方政府会合・日本アスペン シンポジウム〕

- ・テーマ:「地方政府の新たな役割～必要とされるリーダーシップ～」

さまざまな分野でグローバル化が進む中、地域課題の解決に必要な、地方政府、住民、企業のリーダーシップについて議論を交わします。

- ・モデレーター:

本間長世氏 東京大学名誉教授:日本アスペン研究所副理事長

- ・パネラー:

村上陽一郎氏 東洋英和女学院大学学長:日本アスペン研究所副理事長

猪木武徳氏 国際日本文化研究センター所長:日本アスペン研究所理事

辻琢也氏 一橋大学大学院教授

荒井正吾 奈良県知事



本間長世(ホンマ ナガヨ)氏

東京大学名誉教授:日本アスペン研究所副理事長

1954年東京大学教養学部教養学科卒業、東京大学教養学部教授、学部長、東京女子大学現代文化学部教授、国際交流基金日米センター所長を経て2003年 3月まで学校法人成城学園理事長。文化功労者。

著作に、「アメリカ大統領の挑戦」、「共和国アメリカの誕生」、「正義のリーダーシップ」など多数。